

第66回大分県高等学校総合体育大会

# 10. ラグビーフットボール競技実施要項

|       |        |    |         | 開始時間      | 10人制     | 15人制 |
|-------|--------|----|---------|-----------|----------|------|
| 1 期 日 | 平成 30年 | 5月 | 19日 (土) | 10 : 00 ~ | 予選リーグ    | —    |
|       |        |    | 20日 (日) | 11 : 00 ~ | —        | 1回戦  |
|       |        |    | 26日 (土) | 13 : 00 ~ | 決勝トーナメント | —    |
|       |        |    | 27日 (日) | 13 : 00 ~ | —        | 2回戦  |
|       |        | 6月 | 2日 (土)  | 10 : 00 ~ | —        | 準決勝  |
|       |        |    | 4日 (月)  | 13 : 30 ~ | 決勝戦      | 決勝戦  |

※ チーム数によっては日程の変更をします。

2 会 場 湯布院スポーツセンター第2競技場 10人制・15人制 全日程

3 競技規則 平成30年度日本ラグビーフットボール協会競技規則による。

4 競技方法 (1) 試合はAブロック(15人制)とBブロック(10人制)で実施する。  
 ア. Aブロックはトーナメント方式とし、試合時間は30分ハーフとする。  
 イ. Bブロックは、チーム数により(試合形式・開催日時を)別途審議する。  
 (2) 試合は1日1試合までとし、準決勝・決勝は中一日空ける。  
 (3) 試合時間中に勝敗が決まらない場合は引き分けとし、次回戦出場チームを下記の方法で決定する。  
 ア. トライ数の多いチーム。  
 イ. トライ数も同点の場合は、ペナルティーゴール数の多いチーム。  
 ウ. 上記で決定しない場合は、抽選で決める。  
 エ. 優勝戦については、双方優勝とする。(1位・2位は抽選で決める)

5 参加資格 (1) 「第66回大分県高等学校総合体育大会実施要項」の参加資格に準ずる。  
 (2) 九州ラグビーフットボール協会の共済に加入していること。

6 参加制限 (1) チーム編成はA・Bブロック共に、部長1名・監督1名・コーチ1名とする。  
 (2) 選手については、Aブロック30名・Bブロック14名以内で登録する。  
 ただし、Aブロックについては25名を各試合ごとエントリーとする。  
 (3) 合同チームの参加を認める。  
 ただし、トーナメントにおいて(準々決勝以降の)勝ち上がりはないものとする。  
 (4) 合同チームの編成で参加を希望する学校は、専門委員長に連絡して、下記①・②の手続きを取ること。  
 ① 所定の様式「大会出場願い」と「合同チーム活動計画書」を専門委員長あてに提出する。  
 ② 専門部から「合同チームの参加承認」を受けて、申込書を作成する。  
 (5) 外国人留学生の参加については、Aブロックは、エントリーのうち2名までとする。

7 参加申込 (1) 締切日 平成 30年 5月 7日 (月)  
 (2) 方法 ア. No.10 15人制・10人制 様式で作成し、各2部印刷・捺印する。  
 イ. 1部は期限内に下記宛に郵送し、1部は所定の学校一括申込みとする。  
 ウ. 承認を得た申込書電子データは、下記へ期限内にメールでも送信する。  
 (ファイル名:競技名/校名/監督名) (データ受信期限:5月7日(月) 正午必着)  
 メールアドレス [etou-masashi@oen.ed.jp](mailto:etou-masashi@oen.ed.jp)  
 (3) 宛先 〒 870-0938 大分市今津留1-19-1 大分舞鶴高等学校内 江藤 賢 あて

8 出場権の獲得 本大会のAブロック1・2位のチームに、九州大会(熊本県開催)の出場権を与える。

9 諸会議 第1回専門委員会 平成 30年 5月 9日 (水) 10時~ 大分舞鶴高校

10 連絡事項 (1) 棄権する場合は4日前までに、必ず対戦チーム(校)及び県高体連事務局まで連絡すること。  
 なお無断で棄権した場合は、対戦チームの旅費を負担すること。  
 (2) ボールは大会本部で用意する。各校ともボール係、給水係を3名選出すること。  
 (3) スターティング・メンバーの背番号は、1番~15番までとすること。  
 (4) ヘッドキャップとマウスガードは全員装着すること。  
 (5) 各校とも、セカンドジャージを準備すること。  
 (6) 組み合わせ抽選は、専門委員会では抽選基準に基づいて行う。